

作成: 2006 年 2 月 22 日

改訂: 2011 年 3 月 25 日

## 安全データシート

### 【1. 化学物質等及び会社情報】

製品名 ビッグボンド K 専用樹脂  
 会社名 二瀬窯業株式会社  
 住所 〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669  
 担当部署 技術部技術課  
 電話番号 0948-22-0447

### 【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 区分 3  
 生殖毒性 区分 2

上記以外の物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関しては、分類できない、分類対象外または区分外である。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険  
 軽度の皮膚刺激  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
 該当なし  
 該当なし

成分情報

国、地域情報

注意書き

安全対策

:取扱中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。

救急措置

:呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断/手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合は、口をすすぎ、医師の診断/手当てを受けること。  
 目に入った場合は水で数分間注意深く洗い、医師の診断/手当てを受けること。  
 皮膚または髪に付着した時は多量の水と石鹸で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除くこと。  
 皮膚刺激が生じた時は、医師の診断/手当てを受けること。  
 暴露または暴露の懸念がある時は、医師の診断/手当てを受けること。  
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。  
 保管  
 廃棄 :容器を密閉し、直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で、施錠して保管すること。  
 :内容物/容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

### 【3. 組成及び成分情報】

単一化学物質・混合物の区別

混合物

労働安全衛生法通知対象物

水、アクリル樹脂、メタクリル酸メチル

| 化学名または一般名 | CAS No  | 化審法番号    | 濃度   |
|-----------|---------|----------|------|
| メタクリル酸メチル | 80-62-6 | (2)-1036 | 1%未満 |

### 【4. 応急措置】

吸入した場合

負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸し易い姿勢で休息させること。  
 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。  
 水でうがいをする。

|   |  |
|---|--|
| 皮膚に付着した場合   | 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。<br>直ちに多量の水または石鹼水で洗うこと。<br>皮膚刺激が生じた場合は、直ちに医師の手当てを受けること。   |
| 目に入った場合<br>飲み込んだ場合  | 目をこすらず清浄な水で 5 分以上洗浄し、直ちに医師の手当てを受けること。<br>嘔吐が自然に生じた時は気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。<br>事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受けること。<br>多量の水で口をすすぎ、直ちに医師の手当てを受けること。   |
| <b>【5. 火災時の措置】</b>  |  |
| 消化剤<br>特定の消火方法<br><br>消化を行なう者の保護  | 泡、噴霧水、乾燥砂、粉末<br>周辺火災の場合、移動不可能な場合は、容器、梱包及び周囲に散水して冷却する。<br>着火した場合、火元(熱源)を断ち適切な消化剤を用いて風上から消化する。<br>火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。   |
| <b>【6. 漏出時の措置】</b>  |  |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置<br><br>環境に対する注意事項<br>除去方法<br>回収<br><br>廃棄<br>二次災害防止策                  | 作業者は保護具(曝露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上で作業する。<br>屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行なう。<br>漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。<br>漏出物が直接河川や下水等公共水路に流れ込むのを防止する。<br><br>漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。<br>残留液は土、砂などに吸着させて密閉可能な容器に回収する。<br>回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。<br>漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。<br>万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。  |
| <b>【7. 取扱いおよび保管上の注意】</b>  |  |
| 取扱い<br><br><br><br><br><br>技術的対策<br><br><br>注意事項<br><br>安全取扱い注意事項<br>保管<br>適切な保管条件<br>技術的対策 | 容器は注意して取扱い、開ける。<br>使用時には飲食しない。<br>皮膚との接触を避ける。<br>眼との接触を避ける。<br>眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。<br>すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。<br>皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水または石鹼水で洗う。<br>換気の良い区域でのみ使用する。<br>取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。<br>作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。<br>眼/顔面用の保護具を着用する。<br>適当な保護衣および眼/顔面用の保護具を着用する。<br>取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行なう。<br>取扱いは換気のよい場所で行なう。<br>局所排気装置の設置された場所で作業する。<br>知見なし<br><br>熱から離して保管する。<br>着火源から離して保管する-禁煙。<br>容器を密閉して保管する。 |
| <b>【8. 暴露防止及び保護措置】</b>  |  |
| 設備対策<br><br>許容濃度  | 取扱いについては全体換気装置または局所排気設備を設置した場所で取り扱う。<br>取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。<br>情報なし   |

**保護具**

|            |  |
|------------|--|
| 呼吸器の保護具    | 本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を着用する。 |
| 手の保護具      | 不浸透性保護手袋(ウレタン製等)                                   |
| 眼の保護具      | 保護眼鏡(ゴーグル型)または保護面(防災面)                             |
| 皮膚及び身体の保護具 | 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。                       |

**【9. 物理的及び化学的性質】**

## 物理的状态

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 形状      | 液体                |
| 色       | 白色                |
| pH      | 7.0~8.5           |
| 引火点     | 引火せず              |
| 密度      | 1.0               |
| 溶解性     | 水と任意に混和           |
| 粘度      | 200~1500mPa·s     |
| その他のデータ | 0°C以下に放置すると凍結のおそれ |

**【10. 安定性及び反応性】**

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 安定性 | 通常の保管及び取扱いの条件下では安定。 |
| 反応性 | データなし               |

**【11. 有害性情報】**

情報なし

**【12. 環境影響情報】**

## 製品として

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 生体蓄積性   | 情報なし                              |
| 他の有害性影響 | 多量に河川、水路に流入した場合、水生環境に影響を及ぼすことがある。 |

**【13. 廃棄上の注意】**

|       |  |
|-------|--|
| 残余廃棄物 | この製品は排水溝中にあけてはならない。<br>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。<br>都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。 |
|-------|--|

**【14. 輸送上の注意】**

|             |  |
|-------------|--|
| 国連分類        | なし   |
| 国連番号        | なし   |
| 容器等級        | なし   |
| 特定の安全対策及び条件 | 保護具、消化器を携帯する。<br>必要であればイエローカードを携帯する。<br>容器に漏れの無いことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にこなう。 |
| 海上輸送        | 法令の基準に従い積載、運送する。   |
| 航空輸送        | 法令の基準に従い積載、運送する。   |

**【15. 適用法令】**

労働安全衛生法 : 名称を通知すべき危険物および有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表 9) メタクリル酸メチル(政令番号 557)  
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法): 該当なし

**【16. その他の情報】**

## 参考文献

- ・ 国際化学物質安全性カード(ICSC)
- ・ 作業環境評価基準
- ・ 産業衛生学会雑誌
- ・ 2001 TLVs and BEIs(ACGIH)
- ・ Registry of Toxic Effects of Chemical Substances(RTECS)
- ・ IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans(IARC)
- ・ 米国連邦規則集(OSHA)
- ・ 法規制物質リスト(日本ケミカルデータベース)
- ・ ケミカルデータベース(日本ケミカルデータベース)
- ・ GHS 分類結果データベース(製品評価技術基盤機構 NITE)

本安全データシートは、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

また、弊社は安全データシート記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本安全データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。